

令和元年 第3回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「令和元年第3回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

去る、6月29日から7月8日まで、文化交流事業としてチェコ共和国並びにフィンランド共和国を訪問してまいりました。

チェコ共和国では、メヘニツェ市長を表敬訪問し、市政運営についての意見交換や、ワイナリーなどを視察するとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした、両市のスポーツ・文化交流を図るため、市長に招待状を渡してまいりました。

また、フィンランド共和国では、ネウボラ制度による妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や、高齢者の日常生活での自由と自立を尊重したシステムを研修いたしました。

この視察で得た経験を、今後の施策に活かしてまいります。

7月21日に執行された参議院議員通常選挙におきましては、投票しやすい環境を提供するため、市民交流センターニコリに期日前投票所を開設いたしました。

当日は134名の方が利用され、一定の効果があったものと考えておりますので、来月執行予定の市議会議員一般選挙におきましても、ニコリに期日前投票所を開設することといたします。

先日開催いたしました、こども議会では、東西中学校から18名の議員が参加し、中学生ならではの目線で質問や意見をいただきました。

未来を担う生徒達が、市政に関心を持ち真剣に考え、話す姿を見て、とても頼もしく感じるとともに、いただいた提案等につきましては、今後のまちづくりに反映してまいります。

過日の全国高校総合体育大会に、葦崎高等学校サッカー部が6年ぶりに出場し、「古豪」復活の確かな手応えを感じさせてくれたところであり、冬の全国選手権大会への出場に期待をしております。

また、女子バスケットボール部・男子山岳部が、葦崎工業高校からは、レスリング部が出場し、それぞれ活躍いたしました。

全国高校総合文化祭には、葦崎高等学校の吹奏楽部や箏曲部・物理化学部が出場し、なかでも、物理化学部は自然科学・物理部門において、水中

にできるシャボン玉の膜の厚さを求めた研究成果で、見事最優秀賞を受賞いたしました。

大村智博士のように、国際的な視野と情熱を持った偉大な研究者を目指し、将来活躍することを大いに期待しております。

さて、我が国の経済情勢につきましては、内閣府の「景気動向指数」において、「緩やかに回復」との見方を維持しており、日銀甲府支店による金融経済概観でも、「緩やかに拡大」とした総括判断をしておりますが、米中貿易摩擦、韓国への輸出規制強化などの通商問題や消費税引き上げによる影響など、今後の経済動向を注視しながら、市政執行に努めてまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

先ず、子育て環境の充実についてであります。

10月から幼児教育・保育の無償化が始まりますが、本市におきましては、多子世帯における経済的な軽減を図るため、国の施策を更に拡大し、小学校3年生以下の第2子以降の保育料及び副食費などの完全無償化を実施することといたしました。

今後も、「子育てするなら葦崎市」として魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、すみれ葦崎保育園では、過日園舎建て替えのため、起工式が執り行われ、私も、園児らとともに鍬入れに参加してまいりました。

完成後は、新しい園舎のもとで、民間ならではの保育がさらに充実することを期待しております。

次に、防災体制の充実についてであります。

来月1日の葦崎市総合防災訓練では、職員の登庁状況などを瞬時に把握ができる、防災アプリを活用した職員参集訓練を行います。

また、特定地区防災訓練として、葦崎東中学校では、学校施設を利用した住民主体による避難所の開設・運営訓練を行い、葦崎小学校では、4年前のフォローアップ訓練を実施する予定であります。

本市の忘れてはならない災害である、昭和34年の台風7号や伊勢湾台風での被災から、今年で60年を迎えます。

犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、この大災害を後世に

伝え、災害の発生防止の願いを込めた、祈念碑を建立し、来月21日に除幕式を行うこととしております。

今後、洪水ハザードマップの見直しと合わせ災害の発生が予測される時には、まず自分の命を守る避難行動をとるよう、周知してまいります。

次に、商工業の振興についてであります。

国の施策によるプレミアム付商品券につきましては、10月1日に販売を開始いたしますが、購入対象者の方々が多く利用されるよう準備を進めてまいります。

また、中高生等を中心に、企業の魅力を知る機会として、過日、ニラサキオープンファクトリーを開催いたしました。

2日間で、約220名の参加があり市内企業22社の工場内部の見学やモノ作りの体験などが行われ、好評をいただいたところであります。

将来、若者が葦崎市内の企業に魅力を感じ、就職へのきっかけになってくれたらと期待します。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

去る16日に開催した、「夏の武田の里まつり」は、市制施行65周年及びニラ生誕10周年の記念すべき年として、趣向を凝らし、41,000人の観客で賑わい、盛大に開催することができました。

このたびの祭典に際し、多大なご協力を賜りました協賛企業各社をはじめ、商工会や各種団体、関係各位に対し、あらためまして心から御礼申し上げます。

また、10月13日の、市民協働による「武田の里・フェスタ葦崎」では、リニューアルした葦崎駅前広場でのワインフェスティバルの開催や、記念の年にふさわしい新たなイベントなども企画してまいります。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

来月8日に、「武田の里ウォーク 穂坂ぶどう郷コース」を開催いたします。

今回は、四季折々に市内から美しい富士山が望める「にらさき富嶽36景」のビュースポットのほか、銀河鉄道展望公園などのパワースポットを紹介し、参加者層の拡大に繋げるとともに、昨年引き続き、物販・飲食ブースが出店される「KIZUNA フェスティバル」との同時開催により、武田の里ウォークの認知度の向上とにらさきの魅力を発信してまいります。

また、市営総合運動場につきましては、本年2月に設置いたしました「整備検討委員会」において、利用者アンケートやスポーツ団体へのヒアリング結果等を踏まえ、9月末を目途として「整備基本構想」を策定いたします。

中田屋内運動場につきましても、過日起工式を執り行ったところではありますが、明年3月の完成を目指し、工事を実施してまいります。

次に、定住対策の促進についてであります。

国の「まち・ひと・しごと創生基本方針」において、第2期「総合戦略」の策定に向けた考え方が示され、地方創生の充実や強化に向けた、切れ目ない取り組みが求められたところでもあります。

本市といたしましても、「第7次総合計画」に基づくまちづくりを推進するため、現行の総合戦略を検証し、次期戦略の策定を進めてまいります。

次に、市制施行65周年記念事業についてであります。

現在、ニコリ地下アートギャラリーで開催しております、「相田みつを展」ですが、これまで多くの皆さまにご来場いただいております。

時代を超えてもなお多くの人々に「生きる力」を与え続けている相田みつをの世界に触れていただく機会となれば幸いです。

また、来月1日から12月1日まで、葦崎大村美術館において開催する、企画展「いのち 絵画と原始造形の美」では、新しい試みとして堀文子や<sup>しょうじふく</sup>莊司福の絵画をはじめとする近現代美術と、日本遺産に認定された構成資産である縄文土器や土偶とを組み合わせて展示いたします。

さらに、10月13日開催の記念式典におきましては、本市の発展にご貢献いただいた各界の皆様の表彰とともに、長野オリンピック・スピードスケートの金メダリストである清水 宏保氏をお招きして記念講演会を開催いたしますので、多くの市民の皆様にご足をお運びいただきたいと思いますと考えております。

次に、今議会で認定をいただく、平成30年度決算についてであります。

一般会計につきましては、歳入総額は、157億2,809万8千円、前年度に比べ、4.9%の増、歳出総額は、152億9,620万6千円、

前年度に比べ、5.2%の増となっております。

歳計剰余金は、4億3,189万2千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、3億3,848万3千円であります。

また、実質単年度収支は、財政調整基金の繰入により、1億6,088万8千円の赤字となりましたが、公共施設整備基金等への積立により、基金残高は大幅に増加し、後年度の投資的事業に備えたところであります。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、84.2%と、法人市民税等の経常一般財源の大幅な増により、前年度より4.3%改善しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.1%減の9.8%、「将来負担比率」は8.7%減の70.7%となり、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましては、実質収支の総額が1億1,197万8千円となり、水道事業会計におきましても純利益を出すなど、堅実な財政運営を行うことができたところであります。

なお、病院事業会計につきましては、医業収益が、前年度に比べ大幅に増加し、純損失は582万7千円に減少しており、経営は改善していると考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、平成30年度も健全財政を維持できたところでありますが、なお一層、効率的な予算執行に取り組み、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいり所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	6	件、
予算案件	4	件、
条例案件	11	件、
その他案件	2	件
認定案件	16	件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。今回の補正は、法人市民税の減額や前年度繰越金、地方交付税等の確

定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、職員給与費を58万2千円増額補正しております。

次に、総務費であります。

平成30年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に1億6,924万2千円、旧韭崎相互病院跡地に職員駐車場を整備する経費として、庁舎管理費に6,299万7千円、法人市民税の確定申告等による還付金として、徴収事務費に3,467万8千円を追加計上するなど、総額2億9,171万2千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

10月からの幼稚園・保育施設等の完全無償化に対応するため、子ども・子育て支援事業費に2,378万3千円を追加計上し、職員給与費の減額などとあわせ、総額1,421万8千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

定期人事異動による水道事業会計への人件費補助として、水道事業会計補助金に1,270万4千円、簡易水道特別会計の公営企業会計化に向けたシステム導入経費の財源として、簡易水道特別会計繰出金に245万3千円を追加計上するなど、総額1,787万1千円を増額補正しております。

次に労働費につきましては、東京圏から移住し、県が指定する事業所の就職者等に対する移住支援金として、若者定住就職奨励事業費を260万円増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

大雨による農業用水路の緊急修繕経費として、小土地改良事業費に4,000万円、森林所有者に対し、意向調査を実施するための準備経費などとして、林業総務一般事務費に128万1千円を追加計上し、職員給与費の減額とあわせ、総額3,100万6千円を増額補正しております。

次に、商工費につきましては、上ノ山・穂坂地区工業団地に立地した企業に対する助成金として、企業立地支援事業費に1,118万9千円、空き店舗を改修し、新たに事業を開始するための助成金として、まちなか活性化対策事業費に442万1千円を追加計上するなど、総額1,500万6千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

社会資本整備総合交付金の内示により、市道神山2号線道路整備事業費を3,426万5千円減額する一方、市道神山39号線道路整備事業費を2,005万1千円増額するほか、新たな入居者に対応するため、定住促進住宅管理費に2,059万4千円を追加計上するなど、総額1,374万3千円を増額補正しております。

次に、消防費につきましては、国の消防団設備整備費補助金を活用し、消防団に防災資機材を整備するため、消防施設維持管理費を734万4千円増額補正しております。

次に、教育費であります。

幼稚園の無償化に対応するため、子育てのための施設等利用給付事業費に4,665万円、市営総合運動場整備に関する基本計画策定業務経費などとして、総合運動場管理運営費に1,128万9千円を追加計上し、地域体育館建設事業費の財源振替とあわせ、総額5,320万円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、4億4,728万2千円を増額補正となり、現計予算額は147億8,146万円となります。

次に、特別会計であります。

簡易水道特別会計につきましては、公営企業会計化に向けたシステム導入経費として、245万3千円を増額補正、介護保険特別会計につきましては、平成30年度決算に基づき、国庫支出金等償還金に4,290万9千円、積立金に1,605万6千円を追加計上するなど、総額5,656万2千円を増額補正しております。

また、水道事業会計につきましては、県営山口ため池工事に伴う水道管移設工事費や職員給与費など、総額2,603万2千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

さて、議員各位におかれましては、今議会が任期最後の議会となりました。

皆様方におかれましては、葦崎市議会の議員定数の見直しをはじめ、保育園再編整備やワインの消費拡大に向けた提言等をいただき、市政発展のために注がれたご尽力に対しまして、深甚なる敬意と感謝の意を表す次第であります。

引き続き、市議会に立候補される方々におかれましては、再びこの議



場でお目にかかれますようご健闘を心よりお祈りしております。

ご勇退される方々におかれましては、ご在任中と変わることなく、今後も市政に対しましてご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方の、ますますのご健勝とご活躍を衷心よりご祈念申し上げ、私の所信といたします。

令和元年8月29日

蕪崎市長 内藤久夫